

労働安全衛生マネジメントシステム (OHSMS)

を活用した放射線防護のあり方

～システムのコンセプト・骨格と実際の運用にあたっての留意点～

(株) 産業保健コンサルティングアルク 代表
医師、医学博士、ISO45001審査員

梶木繁之

(労働安全衛生コンサルタント会福岡支部 副支部長)

広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 客員准教授
産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 非常勤講師

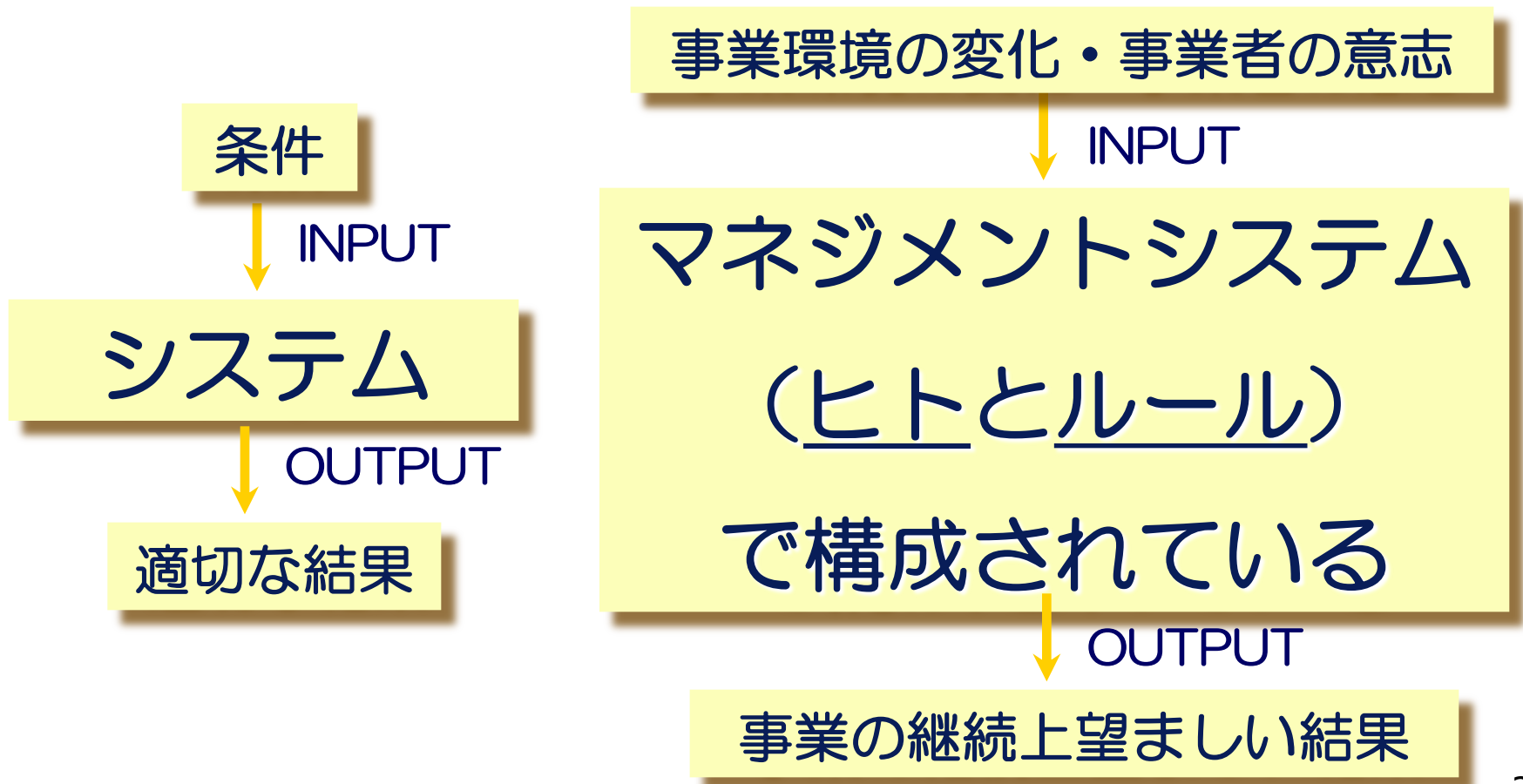
skajiki@med.uoeh-u.ac.jp



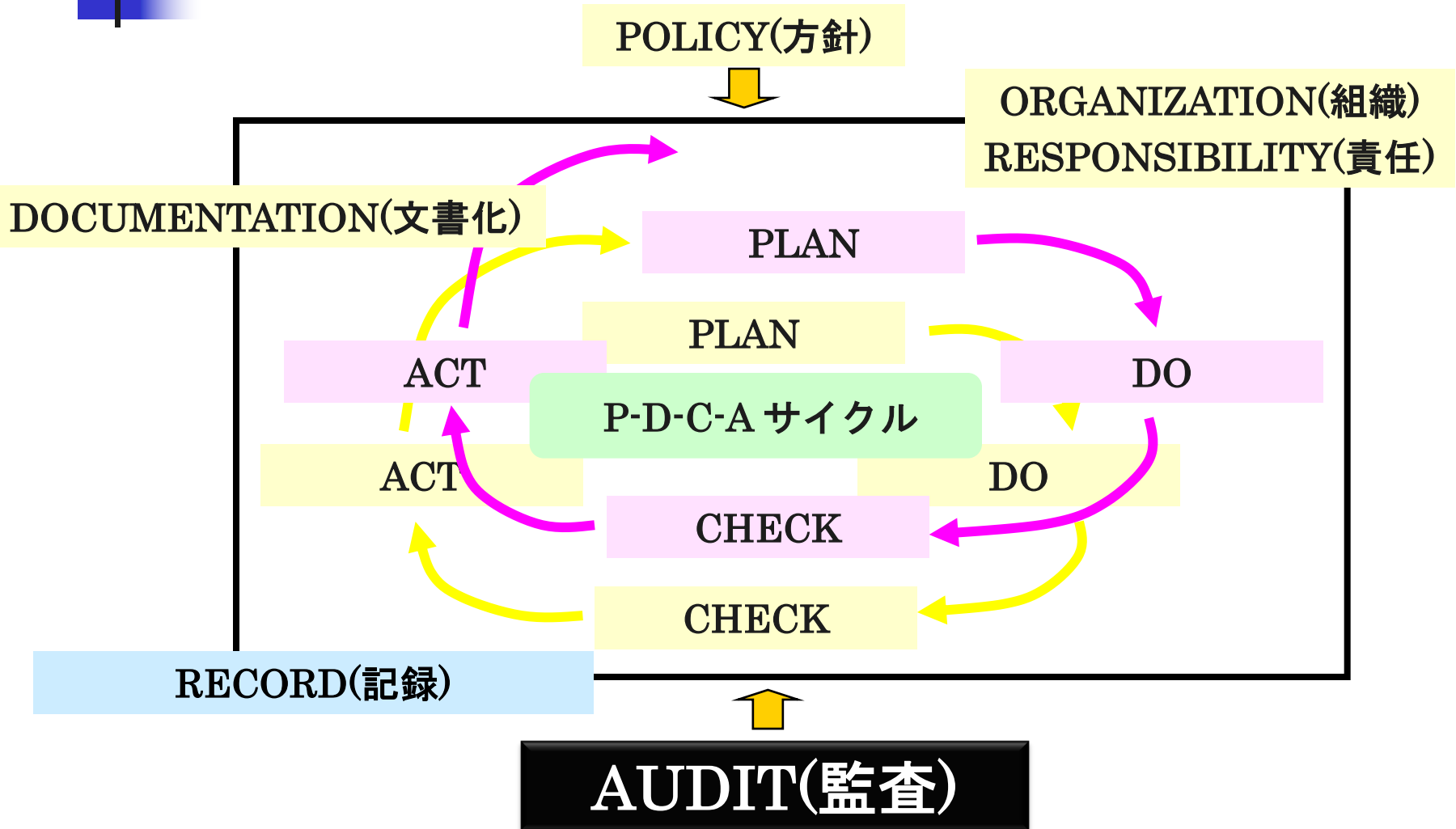
メニュー

- マネジメントシステム（MS）の概要
- 直接支援を通じて判明した良好事例、課題
～労働安全衛生コンサルタントより～
- MSの特徴（長所と短所）
- 今後に向けての提案
～コンサルタントの所感も踏まえて～

マネジメントシステムの定義



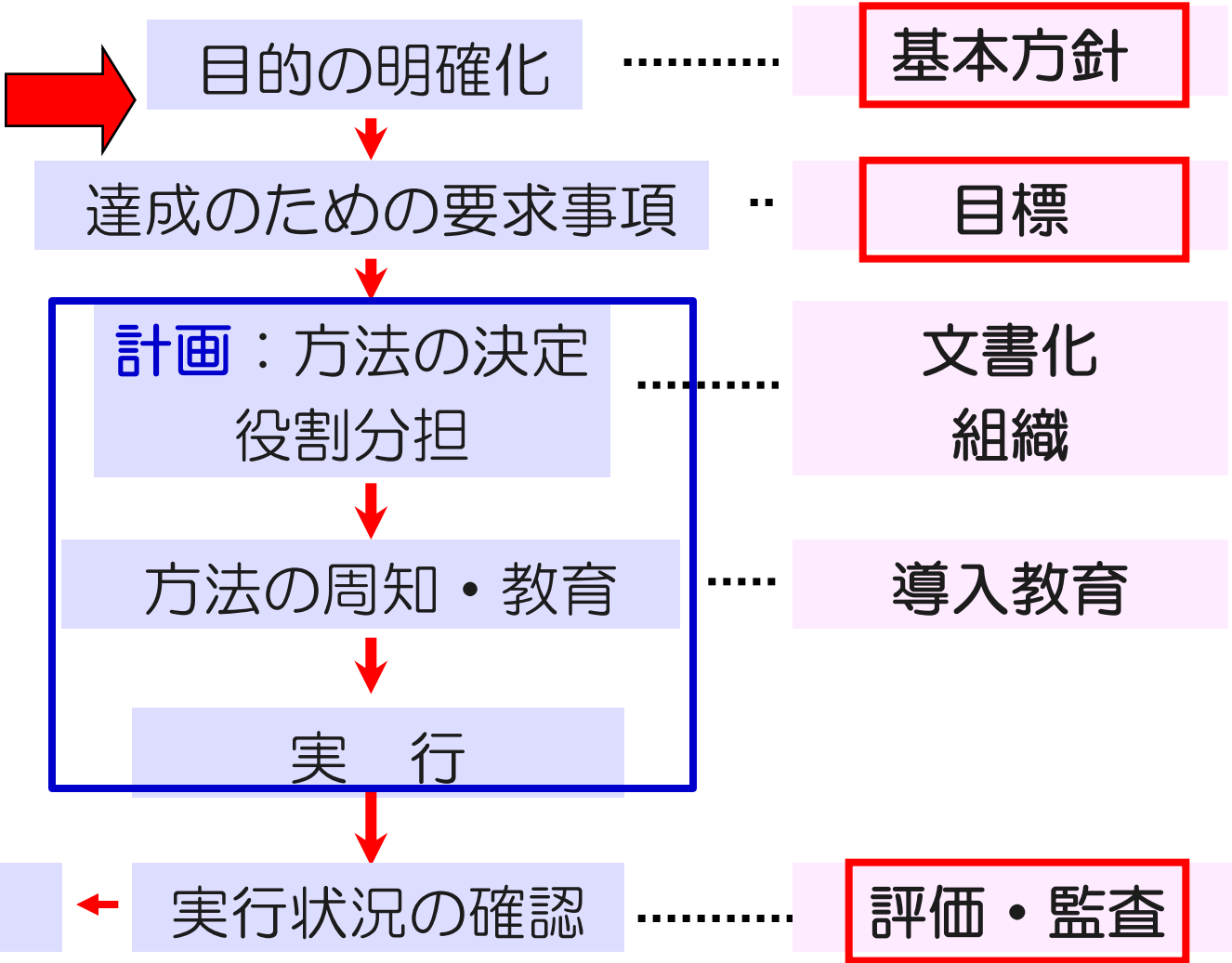
マネジメントシステムのPDCA



今回は放射線被曝からの防護！

目標による管理 Management by Objectives

目的
何か達成したいこと



改善

マネジメントシステム(MS)の導入を控えた医療機関への

直接支援を通じて判明した**良好事例**

- MSに対する**関係者の理解が深い**
- MSの**マニュアルが整備**されている
- 関係者への**教育が充実**している（e-learningなどを活用）
- 病院**経営層**（院長・副院長など）の**関与**（参画）がある
- **既存委員会が有効に機能**し、活用されている
- **医療被曝低減認定施設**を取得している
- ISO9001等を導入し、**自律的な活動**を推進している
- 法改正の**変更**に速やかに対応している（**変更の管理**）
- 院内**担当者の意識**が高い
- **役割・責任と権限**のある担当者が配置されている
- 病院**全体で取り組んでいる**（多職種が連携）
- **放射線被曝の評価の仕組み**が導入されリスク管理が行われている

マネジメントシステム(MS)の導入を控えた医療機関への 直接支援を通じて判明した**課題**

- 病院経営層の関与の強化（マネジメントの**リーダーシップが必須**）
- 院内への**方針展開と周知**
- 院内の**既存委員会の機能整理と有効活用**、活動の充実
- 放射線管理のための**院内組織体制の見える化**
- **キーパーソンの設置**（配置）とそれを**サポートする体制の整備**（多職種による連携・協力）
- MS担当者への**教育・研修の強化**
- MS関係者の**役割・責任の明確化**
- **年間計画**、**管理目標の設定**
- **内部監査員の育成・強化**
- **マニュアルの整備**（記録の管理、変更の管理のルール化等）と文書類のスリム化
- MSに関する**職員教育の充実**（e-learning等の活用）
- 法的要求事項の一覧化
- **正確な被曝（ばく露）評価のため**の行動の定着（シークレットサーベイ等）
- **ハザードリストの作成とリスクアセスメント手順の確立**
- 先行（良好）事例の**収集**と他機関との**ネットワークづくり**

マネジメントシステムの特徴 (長所・短所/負担)

組織的な活動が展開
見える化が拡大
標準化が組織に浸透
役割・責任が明確化
リスク対策が促進
説明責任が強化
変化に対応しやすい



業務量が増加
新しい知識の習得要
専門領域以外の業務増
文書(ルール)管理増
記録の保存増
教育・研修の機会増
役割・責任の増
組織全体の取組み要

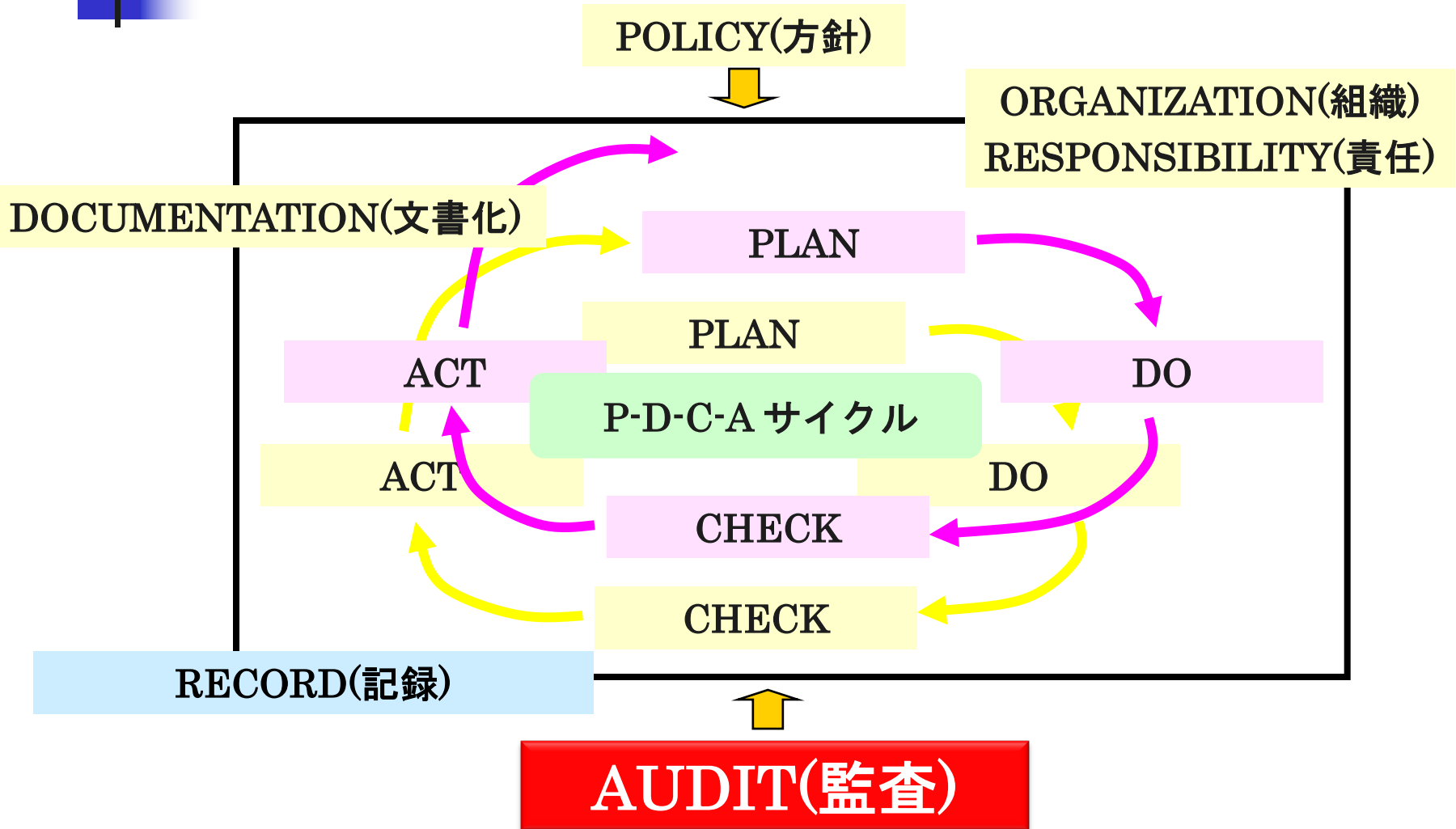
行政には
インセンティブ付与を！

コンサルタントからの 提案（重要事項）

- 病院経営層（院長など）の理解と協力（医師の関与含む）
- MS教育の充実
- 関連する法令の一覧化
- 既存委員会の役割・責任の明確化と機能整理、活動強化
- 院内多職種による連携の強化
- キーパーソンの外部研修の受講（ISO45001関連）
- 放射線の発生源（ハザード）のリスト化
- 年間計画、管理目標の設定
- 法遵守から自主管理への転換
- 正確な被曝評価法の定着（バッチ装着率の強化）
- 関係者の役割・責任の明確化
- MS関係者の意識の向上
- リスクアセスメントの充実

小さなこと、できることからコツコツを積み上げていきましょう！

マネジメントシステムのPDCA



内部監査員の育成

内部監査にかかわる順番

内部監査の見学（オブザーバー）
（雰囲気を感じる）

被 内部監査者の一員
（インタビューを受ける）

内部監査員の一員
（監査員の心得をもとに取組む）

内部監査リーダー
（全体を運営する）

第1段階

- ・興味・関心
- ・ちょっとした勇氣

第2段階

- ・MS基礎知識
- ・日常の活動

第3段階

- ・監査の視点
- ・コミュカ

第4段階

- ・纏める力・交渉力
- ・プレゼンカ

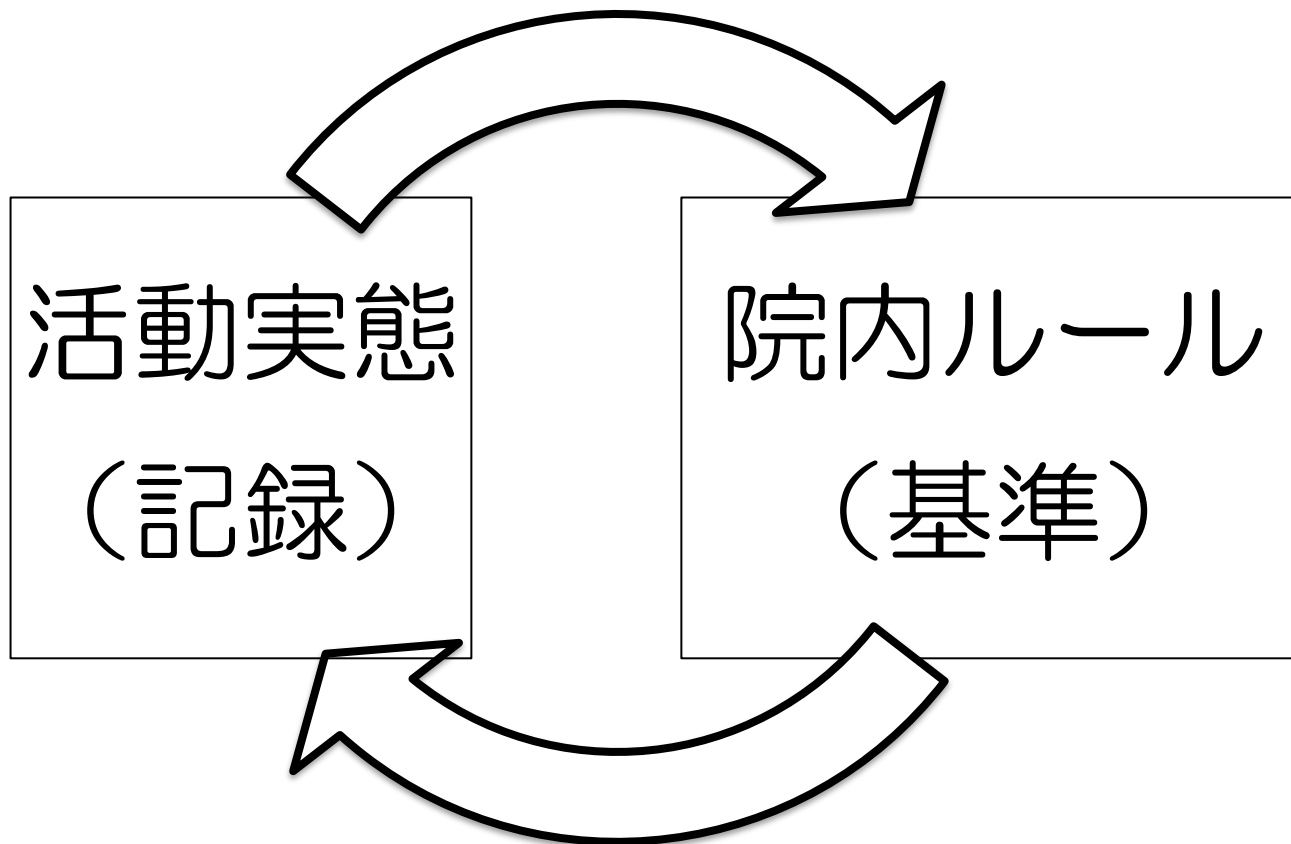
医療従事者でも参加できる

OHSMSに関する研修会

主催団体	研修名（実施時期など）
産業医科大学	産業医学基本講座（毎年4-5月に開催：うち1日間） 産業医学実践研修（年1回：1日間）
中央労働災害防止協会	ISO45001導入のための基礎研修（1日間） 基本から実践まで分かるISO45001研修（2日間） ISO45001規格のポイントと実践研修（1日間）
	文書例と様式例で出来るISO45001・JIS Q 45100構築研修（1日間）
	ISO45001内部監査員養成研修（1日間）
	マネジメントシステムリーダー研修（2日間）
テクノファ/グローバルテクノなど	JRCA承認コース：ISO45001対応 労働安全衛生審査員研修コース（5日間） JRCA承認コース（2021年4月～）ISO45001対応 労働安全衛生審査員研修コース（Web3日間＋集合3日間／計6日間）
ISO各認証機関など	ISO45001内部監査員養成コース（2日間）など

活動とルールの見直し

活動実態と運用ルールの関係



参考書籍

- 労働安全衛生マネジメントシステムに関する情報（内部監査含む）がわかりやすく記載されている。

